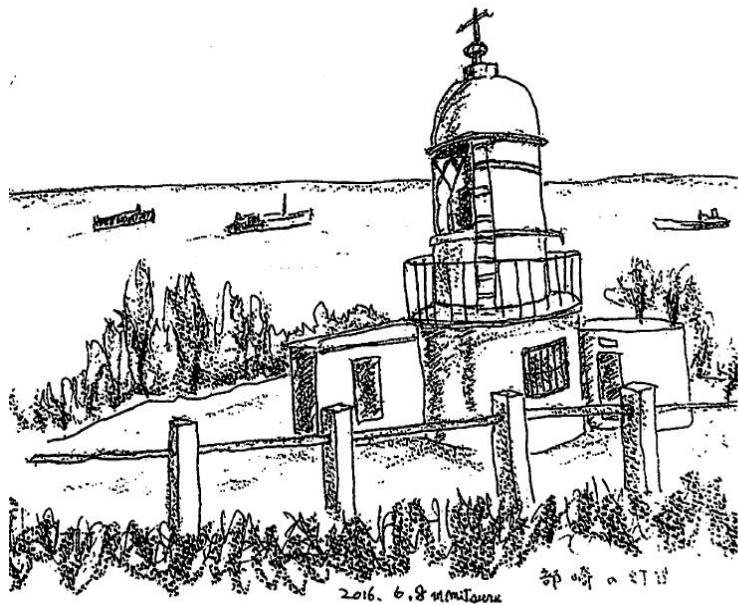


週報2022年10月16日



2022年教会標語聖句

起きよ。光を放て。あなたの光が来て、  
主の栄光があなたの上に輝いているからだ。

イザヤ書60章1節

シオン教会信仰指標～人生が変わる！御言葉の光に照らされて～

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2022年10月16日

ピアノ：赤松姉 オルガン：力丸勝子師

司会：吉武姉 献身の祈り：三溝姉 メッセージ：山崎牧師

開会の祈り		司会者
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和	
賛美	新聖歌 34「恐れなく近寄れ」	
祈禱	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*	
献身の祈り		三溝 姉
賛美	新聖歌 253「イエスの御腕に」	
賛美	コーラス 19「イエスは勝利をとられた」	
聖書朗読	創世記 13章1-11、18節	
説教	「心の祭壇を築く」	
	応答の祈り	
頌栄	「主の祈り」	
祈禱		山崎 師

交わりの三省

\*互いに愛し合っていますか

\*互いに赦し合っていますか

\*互いに祈り合っていますか

# 説教要約

## 創世記 13 章 1-11、18 節

### 「心に祭壇を築く」

#### ①所有物について

創世記で出てくる“所有物”とは神の祝福の事です。私が創世記にテーマを付けるとするなら、“神の祝福の増大”です。神様は人間を創造し、このように言っています。「生めよ、増えよ、地に満ちよ」（創世記 1：28）。つまり、神の祝福とは“**神の与えた命が人間を通じて豊かに満ちていく事です**”。

つまり、創世記 13 章の冒頭で、アブラハムが「非常に富んでいた」と言う記述は字義的に読むよりも、「アブラハムは非常に神に祝福されている」と読むのが正解です。これは結論にもなりますが、アブラハムは有能な人間だから富んでいるのではありません。神の計画に従った事によって祝福を受けました。

聖書が投げかける質問は、「私達は今ある所有物に対してどのように受け止めるか？」ということです。価値観は人によって違います、人脈が宝と言う人もいます。財産、趣味、仕事が宝と言う人もいます。それらの大切なのが、神様から賜ったものであると、知る事が人生をより豊かにする秘訣です。感謝に至る道は次の祝福を受け取る道に通じます。

#### ②心の祭壇を築く

神の計画に従ったアブラハムですが、それを態度で示す為に必ずある事をします。それが“祭壇を築き”、“主の御名によって祈る”事です（12：8）（13：4）しかし、12 章 10 節で飢饉が起こった時、アブラハム一行はエジプトに逃げますが、そこで祭壇を築く記述が一度も出て来ません。これは見逃せない大きなポイントです。つまり彼は神の計画に従うよりも自分の状況把握や判断が優れていると態度で示したのです。

この前提を踏まえると、13 章で見た（アブラハムの）甥のロトの行動の本質が見えてきます。アブラハムとロトは“**お互いの所有物**”が増え、お互いの部下がケンカを始めました。そこでアブラハムは住む場所

を変える事を提案します。ロトは自分の目によく映る場所を選択し、アブラハムは主が見渡すように命じた所（つまり神が**祝福**を約束したカナンの地（12：1-3・13：14-17）へ又、進み出て行きます。もう一度書きますが、アブラハムの優れた点は能力や財力ではなく、**主の前にへり下った事**です。

現代の私達にとって“心の祭壇を築く”とはどういう事でしょうか。端的に申しますと、へりくだって、神の約束を最後まで信頼する事です。主に信頼を置く人は必ず、主を呼び求めます。**つまり心の祭壇を築く人は礼拝が形となって現れると言う事**です。2 番目の問いかけは「今私達が最優先するものは何ですか？」です。偶像礼拝は私達が主を呼び求める事を止めた時から始まります。

#### ③私達の信仰の旅路

聖書の言う知恵・知識はいわゆる、博学の事を指しません。聖書が創世記を通じて強調しているのは、知恵ある者とは神の計画に従って進む人です。アダムとイブが中央の木の実を食べました。それは“神の祝福の計画よりも自分の判断を優先した”と言う事です。ここから人類は神の計画に反し、争う、奪う、失う、そして悲しむ生活へと陥りました。

アブラハムが信仰の旅路で学んだ事は「待つ」事と「進み出る」事です。言い換えると**神の時を逃さない事**です。つまり、主の時を待つ事＝《人生の忍耐、人と神への信頼、熟慮、謙遜を学ぶ事等》、そして主に一歩踏み出す事＝《行動と犠牲の伴う愛を示す（奉仕、執り成しの祈り、施し等）です。結論的にアブラハムは礼拝が形となって現れました。それは神が丁寧に一歩、一歩導き、彼が真摯に答えて行ったからです。

私達の信仰の旅路はどうでしょうか？先の見えない獣道？分岐点だらけの迷い道？Uターンして戻り道。これは私の事です。しかし神は何度も何度も愛と忍耐を持って祝福の道へ戻してくださいました。愛する皆様、神様にとって一番の宝は私自身の事です。それがわかれば、地上での歩みは何処に行っても問題ありません。主は私達という唯一無二の命を通して、地上に愛と赦し（**命**）が満ちていく事（伝播し広がる事）を望んでいます。祝福の道を歩むとはどういうことか、アブラハムの献身を通して学んで参りましょう。